



第70回国民体育大会 「2015 紀の国わかやま国体」

10月2日(金)から5日(月)に岩出市立市民総合体育館でバドミントン競技が開催された。広島県代表として広島ガスバドミントン部の井上静華選手、平井亜紀選手、濱北もも選手の3名が出場した。成年女子の部はフリーエントリーの為、全47都道府県が出場し、広島県はシードのため2回戦からの登場となり、熱い戦いを繰り広げた。初戦は千葉県(NTT 東日本)と対戦するも、平井・濱北ペアは終始相手に攻められ敗退し、続くシングルスでも井上選手が健闘するもファイナルゲームの末、敗退となった。結果、広島県は2回戦敗退となり、目標としていた入賞を果たすことが出来なかった。

課題の残る大会となったが、これからは本番。今月末から開幕する日本リーグでの活躍に期待したい。



国体、無念の敗退

9月27日、28日和歌山県白浜町にて開催された国民体育大会にNTT西日本広島ソフトテニスクラブのメンバーが参加した。

この大会は、ダブルス、シングルの都道府県対抗の団体戦。広島県はNTT単独チームで挑んだ。山口国体以来優勝から遠ざかっているものの、優勝候補筆頭のチーム。しかし大学生を中心とした山形県チームの勢いを止められず、1-2で敗退。残念ながら2年連続初戦敗退という結果に終わった。今回の試合をこれからの試合に生かし、今後勝利を重ねていけるよう期待したい。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



広島東洋カーブ 中崎 翔太選手

生年月日 1992. 8. 10
身長 186cm
血液型 B型
出身地 鹿児島県

担当者からのコメント

マウンドに立つと、普段の愛嬌のある表情から想像できない迫力のある形相でボールを投げ込む姿が印象的です



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

第70回国民体育大会

CCW レッドスパークス 優勝 (両県)

決勝戦

広島 1-1 岐阜 (ソニー)

ワクナガレオリック 3位

3・4位決定戦

広島○31-30●宮城 (トヨタ自動車東日本)

広島メイプルレッズ 4位

3・4位決定戦 (オムロン)

広島●12-22○熊本

JT サンダース 5位

5・7 決定戦

広島○3-0●岩手 (選抜)

広島ガスバドミントン部

2回戦敗退

広島●0-2○千葉 (選抜)

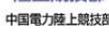
NTT 西日本ソフトテニスクラブ

初戦敗退

広島●1-2○山形 (選抜)



加盟
団体



トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



高円宮杯 2015 女子ホッケー 日本リーグ連覇ならず



10月17日、18日の二日間大阪府において「高円宮杯 2015 女子ホッケー日本リーグ 最終節」が開催された。

リーグ総当たり戦の末、1~4位順位決戦リーグ戦に進んだレッドスパークスであったが、最後のソニー戦で破れ準優勝となり、連覇を逃した。

ソニーのセンターパスで試合が開始。序盤から両チームともに積極的にチャンスをつかみ、攻守の切り替えが早いゲーム展開であった。お互いPCを獲得するが、それぞれの守備陣の堅い守りでスコアは動かさず、ミスの許されない緊張感のある試合展開の中、両チーム無得点で前半を折り返す。試合が動いたのは後半に入った37分ソニーはPCのシュートでディフェンスに当たって浮き上がったボールを20山本がうまく押し込み先制する。優勝するには勝つしかないCCWレッドスパークスは猛攻を仕掛けるが、ソニー守備陣の堅い守りに阻まれ得点出来なかった。逆に59分ソニーはライトのドリブルから最後は8中島がタッチシュートを決め2点目を奪い試合を決定づける。そのまま2-0でソニーが勝利し2年ぶりの優勝を決めた。

ワクナガレオリック 国体3位!!



平成27年9月28日(月)~10月2日(金)に和歌山県和歌山市で第70回国民体育大会ハンドボール競技が開催された。ハンドボール成年男子の部では19都道府県のチームが出場した。ワクナガレオリックの初戦である兵庫県選抜との試合では、選手の体格差とスピードに圧倒的な力の差を見せ付け36-21で勝利し勢いのあるスタートとなった。9月30日(水)に行われた準々決勝戦の相手は昨年の長崎国体の初戦で対戦し、接戦した山梨県選抜だ。山梨県のスローオフでスタートした試合に湧永は終始落ち着いた姿勢で攻め、湧永のペースで試合をすることができ2勝目をあげた。次は、埼玉県大崎電気との準決勝で前半戦は両



ワクナガレオリックの選手たち

チームともに退場者を出す激しい攻防となるが、互いに点を縮めあって11-10とほぼ互角の試合となった。後半戦では最初埼玉県が3点先取するも、湧永5番今井がポストシュート、2番谷村が2連続で返すなど互いに攻め合い1点差の試合となっていたが、その後埼玉県が3連取して4点差となる。湧永も負けじと徐々に点差を縮めていったが、湧永が退場者を出すなどのミスが響き埼玉に速攻を決められ6点差に引き離された。その後も湧永は果敢に攻め入るもののなかなか点差を縮められず、8番仁平が決めるもタイムアップ。23-31の8点差で湧永の負けとなり準決勝を終えた。3・4位決定戦で湧永は宮城県トヨタ自動車東日本と戦い31-30で逆転勝利し、3位という成績で幕を閉じた。ワクナガレオリックは今回の国体を1つのミスが命取りになるため、チーム一人一人がミスに対してよりシビアにならなくてはならないと振り返る。今回の国体での試合結果を生かし11月から始まる日本リーグに向け、もう一度チームを立て直し、チーム一丸となり戦っていききたいと前向きな姿勢を見せる。ワクナガレオリックのさらなる活躍を期待したい。



今シーズン最終戦を迎えた広島カープ

10月7日に4位という成績で今シーズン最終戦、中日ドラゴンズとの試合を迎えた広島カープ。この試合に勝てばクライマックスシリーズに出場が決まるという緊張感が走る一戦となった。球場にはカープのクライマックスシリーズ出場が決まる瞬間を一目見ようとカープのユニフォーム、赤のカープグッズなどを持った多くのファンが集まった。最後まで粘りを見せたカープだったが、終盤に中日ドラゴンズに試合の主導権を握られ、惜しくもクライマックスシリーズの出場を逃してしまった。

今シーズンを応援してくれたファンの皆様にと試合後には監督、コーチ、選手全員でのサインボールの投げ込みが行われ、最後までファンを楽しませ会場は試合終了後も大きな歓声に包まれた。

今季の主催試合の総入場者数は、2,110,266人と球団最高記録であり、前年以上に多くのカープファンに見守られた2015年度のシーズンは幕を閉じた。



サインボールを投げ込む選手たち



サンフレモン PR

10月17日川崎フロンターレ戦が行われた広島市安佐南区のエディオンスタジアムの特設会場でサンフレッチェ広島を応援する県産レモン商品「サンフレモン」のPRイベントが行われた。「サンフレモン」は2015年3月1日にサンフレッチェ広島応援バージョンの「広島レモン」として誕生。

サンフレモンとは、防腐剤を一切使わず皮まで安心してまると食べられる広島ブランド「広島レモン」のパッケージに、サンフレモン専用シールや袋を使用して販売しているもの。JA広島果実連（広島県果実農業協同組合連合会）のサンフレッチェ広島応援企画で、サンフレモンの売上金の一部がクラブの強化資金になっている。オフィシャルマスコットのサンチェ君がサンフレモン公式マスコットにも就任し、大玉1個入り広島レモン（200円前後）では専用シール、中・小2個入り（250円前後）では専用の袋に入れ

て販売されている。サンフレモンは広島県内の生協ひろしま、フジ、フレスタ、マックスバリュなどでも取り扱われている。（一部取り扱いがない店舗がありますのでご注意ください。）

今回のイベントでは広島果実連の職員が香りの強い秋レモンの特徴を紹介。「国内生産量日本一の広島レモンを食べて、日本一を目指すチームを応援して」とサンチェ君と一緒に2個入り300セットをサポーターに配った。Jリーグも残りわずか。サンフレッチェ広島は広島県産レモンと同じ日本一になれるか、最後まで目が離せない。



イベントの様子の写真

9/26~10/25 トッパス広島 試合結果

広島東洋カープ

- 9/26 カープ○ 2-1 ● 阪神
- 9/27 カープ○ 5-2 ● 阪神
- 10/2 カープ○ 2-1 ● 中日
- 10/3 カープ● 4-6 ○ ヤクルト
- 10/7 カープ● 0-3 ○ 中日

サンフレッチェ広島

- 10/3 J1 2nd ステージ 第13節
対 FC東京
結果 0-1
- 10/17 J1 2nd ステージ 第14節
対 川崎フロンターレ
結果 2-1

「2015/16V・プレミアリーグ」開幕間近、FC 東京と練習試合！！

10月17・18日に猫田記念体育館でJTサンダーズ対FC東京の練習試合が行われた。プレミアリーグ開幕間近ということもあり、子どもから大人まで幅広く、たくさんの方々が応援・見学に来られていた。

練習試合とはいえ、鋭いスパイクが何度も飛び交い、チームのかけ声や見学に来られた方々の声援で活気が溢れた練習試合だった。試合中、相手のすばやいサーブやスパイクに対して瞬時に動ける対応力にとっても圧倒されたとともに、「ナイス〇〇！」のかけ声やハイタッチなど、チーム内の雰囲気の高さも感じることができた。

見学に来られていた女性は「よく練習を観に来てエールを送っています。この応援が届いてまた優勝につながればいいな」と話してくれた。この1つ1つの応援の声が選手の糧となり、チームを後押ししてくれる大切な存在であるのだと思う。そして、JTサンダーズが掲げているスローガン、「最高の勇気を。最高の感動を。」を今年もたくさんの人に伝えてほしいと願っている。



練習試合の風景

呉市トップアスリート派遣事業：落走小学校陸上教室

10月5日（月）に呉市立落走小学校で開催された、呉市トップアスリート派遣事業に中国電力陸上競技部から、藤森憲秀選手、池淵智紀選手、中原大選手、本多浩隆マネージャーが参加した。

プログラムは「イメージしたとおりに身体を動かせるように」を目標として構成されており、全校児童44名が選手の指導の下、汗を流した。

また、実技終了後は5、6年生と選手と一緒に給食を食べながら交流した。

最後に指導に当たった池淵選手から、「自分は小学生の時に相撲をしていた。しかし今は陸上競技をしている。小学生の時には全く予想をしていなかった。いつ何が転記になるか分からない。何事も決めつけず、いろいろなことに挑戦してほしい」と語った。



指導中の選手と子どもたち→

メイプルレッズ 中国代表チームと合同合宿

広島メイプルレッズは、10月15日16日に中国代表チームと合同合宿を行った。中国代表チームは10月21～25日まで名古屋で開催される、リオ五輪アジア予選に出場する。6月に広島で開催されたヒロシマ国際大会では広島メイプルレッズと中国代表は26-24で広島メイプルレッズが勝利したが、今回は2試合とも中国チームの勝利。五輪予選を目前に中国代表の仕上がりも十分の様子だった。なお、日本代表には広島メイプルレッズから松村杏里選手が選出されている。10月21日に行われた日本代表と中国代表チームの試合では松村選手も1点を挙げ、29-19で日本代表が勝利を納めた。



メイプルレッズの選手たち